

大学の理系・情報系、 新設・定員増が続く

国の事業の2025年選定校を掲載。過年度選定校では事業を廃止したところも

旺文社 教育情報センター 2026年2月24日

理系人材育成を助成金で後押しする国の事業により、大学の学部新設や定員増が続いている。本稿では、2025年選定結果と2026年変更予定の支援の枠組みを示す。

■理系人材、デジタル人材の育成を国が支援

国は、社会の急速なデジタル化、世界的な脱炭素への動きに対応できる人材育成を目的として、大学の理系学部新設や定員増を支援している（大学・高専機能強化支援事業）。理工系学部への入学者割合や世界デジタル競争力ランキングなど各種指標が国際的に低調であること、人材ニーズの高まり、将来の人材不足の指摘を受けたもので2023年から始まった。各校の取り組み内容に応じて、最長10年、最大20億円超が支援される。支援事業は2つの枠組みで構成されている（※1）。

【大学・高専機能強化支援事業 2つの枠組み】

「支援1」学部再編等による理系学部新設、定員増への支援（対象：公立私立大）

↳デジタル・グリーン等の特定成長分野に関連。

「支援2」高度情報専門人材確保に向けた機能強化への支援（対象：大学〔大学院〕、高専）

↳大学は大学院での研究科設置や定員増などの機能強化が必須。

■理系（特定成長分野）・情報系の入学定員、2030年までに2.2万人の増加へ

2025年（第3回）公募の選定結果で学部の入学定員を集計すると、支援1では2029年までに特定成長分野関連で3.4千人増える計算だ（※2）。支援2では、学部での取り組みを国立大2校、私立大1校が計画。2027年までに情報系の入学定員が500人ほど増える。2023年～2025年の選定結果の合計では、理系（特定成長分野）・情報系の入学定員は2030年までに、再編等での転換を含みおよそ2.2万人（※3）増加する。なお、本事業で選定された場合でも、実際の新設や定員増に際しては「認可申請」や「届出」など、国への手続きは別途行われる。

（※1）支援1・2とも学位分野は、理学・工学・農学のいずれか、またはいずれかを含む融合分野である必要（高専は工学）。この2つの枠組みは2026年に変更される予定（次ページ）。

（※2）再編等での転換による定員増と、既存組織の定員増の合計。転換には「文系→理系（特定成長分野）」がある一方で、「理系→理系（特定成長分野）」も少なくない。純粋な理系の定員増とは言えない点には留意。以下、同様。

（※3）選定後、事業を進めたものの断念したところや規模を縮小したところなどもあり、それらを含んで算出。学生確保が見込めないという理由での断念も見られる。事業を廃止した大学は敬愛大学、神田外語大学、順天堂大学、東京医療保健大学、大阪経済法科大学、兵庫大学、宮崎産業経営大学（実施状況報告書）。他にも、新設を取りやめたことを公表している大学はある。

◇大学・高専機能強化支援事業
選定結果

		申請	選定	選定校の内訳			
				国立大学	公立大学	私立大学	高専
支援1	2023年(第1回)	67	67	-	13	54	-
	2024年(第2回)	62	59	-	4	55	-
	2025年(第3回)	35	27	-	4	23	-
支援2	2023年(第1回)	57	51	37	4	5	5
	2024年(第2回)	43	38	18	4	5	11
	2025年(第3回)	27	19	5	3	4	7

※大学改革支援・学位授与機構資料より作成(単位:校)。

■大規模な文系→理系転換、高専新設の後押しなどを狙って、支援の枠組み変更へ

これまで3回の申請・選定状況をまとめた(上の表)。選定数合計は、支援1が153校、支援2が108校に達している。事業開始当初、選定予定数は支援1=250校、支援2=60校とされていた。支援2は2024年の選定で89校となり予定を超過したが「よい取り組みは選定したい」(文科省)として2025年の公募が行われた。申請数・選定数はともに漸減傾向だ。意欲的な大学の取り組みが順次選ばれた結果とも言えるが、さらなる転換を狙って、2つの支援の枠組みは2026年から変更される。支援2は2025年の公募で最終だったが、その枠組みを引き続き活用して高専の新設などの支援が行われる。

【2026年からの大学・高専機能強化支援事業の概要(予定含む。変更があり得る。文科省資料より)】

「支援1」

成長分野転換枠(従来の継続) → 支援対象・内容は従来と同じ。申請要件が一部改訂。

大規模文理横断転換枠(新規) → 支援対象は従来と同じ。理工農系の入学定員150人以上の新設や定員増、かつ、文系(※4)でそれ以上の定員減の再編を支援。支援額は最大40億円程度。他に、文系学部が新たにダブルメジャー導入などで高度な文理融合教育に取り組む場合も支援対象(例:文系学部でもうひとつのメジャー科目群として情報科学などを履修。一定単位数以上の修得、卒業単位数の基準設定[124単位超]などが必要)。

「支援2」

高度情報専門人材育成枠(従来の継続) → 対象は高専のみに変更。公私立の高専の新設・転換の支援額は最大20億円。

重点分野支援枠(拡充) → 大学院、高専が対象。AI、量子、半導体、バイオ、造船、航空など経済成長実現のための重点分野と、情報分野を掛け合わせた取り組みを支援。

予定されている変更のなかでは、支援1の大規模文理横断転換枠の導入が目玉と言える。入学定員150人以上の理工農系の新設や定員増と、それと同数以上の文系(※4)の定員減という転換で、規模が大きい。主に、大都市圏の大規模大の「文系→理系」の再編を図るもので、大学の動向が注目される。

これまでの選定計画も含めて理系・情報系の定員が拡大する一方で、受験生の理系志向が高まるかどうかは未知数だ。入学者の確保や学力担保は現実的な課題となりそうだ。

(※4) 学位分野に理学、工学、農学、獣医学、医学、歯学、薬学、保健衛生学のいずれも含まない学部等。

(2026.2 加納)

◇[支援1]学部再編等による理系学部(特定成長分野に関連)新設、定員増への支援
2025年(第3回)選定校

※各校の事業概要資料、文科省資料、大学ホームページ、取材等により作成。 ※実際の新設、定員増に際しては別途、国に対して手続きが必要。
※学部・学科等の名称(仮称含む)、計画は選定時点での予定。今後の変更があり得る(一部、選定時から変更された大学あり)。
※学部・学科等の所在地、設置予定地が本部所在地と異なる場合がある。 ※備考に【既存組織の定員増】と記していないところは新設や改組。
※入学定員に編入学定員を含む場合がある。 ※女子枠=事業概要資料に言及がある場合に「◎」。

2026年の計画

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、予定)	備考
公立大学						
京都	福知山公立大学	情報		120		【既存組織の定員増】
広島	県立広島大学	地域創生	情報	40		
私立大学						
東京	東京理科大学	理(第一部)	科学コミュニケーション	80		
		創域情報	情報理工	360	◎	
東京	武蔵野大学	国際データサイエンス (通信教育部)		57		
神奈川	関東学院大学	情報	情報	160		

2027年の計画

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、予定)	備考
私立大学						
群馬	桐生大学	スポーツデジタル	スポーツデジタル	80	◎	2026年4月、ぐんま未来大学に校名変更。
東京	上智大学	理工	デジタルグリーンテクノロジー	50		全教育を英語で実施。定員の約半数は留学生。
神奈川	湘南工科大学	工	共創工	270		【既存組織の定員増】 工学部4学科 ⇒ 工学部共創工学科4専攻に改組。
愛知	藤田医科大学	医	医工共創	30		
大阪	梅花女子大学	情報メディア	情報メディア	65	-	
大阪	羽衣国際大学	現代社会	デジタル情報	70		
福岡	福岡工業大学	工	先進工	460	◎	工学部4学科 ⇒ 工学部先進工学科6コースに改組。
		デジタルメディア	デジタルメディア	80	◎	短大部-情報メディア学科を改組。
福岡	福岡女学院大学	情報工	情報システム	50	-	

2028年の計画

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、予定)	備考
公立大学						
宮城	宮城大学	デザイン創学群		60		
私立大学						
宮城	仙台大学	体育	スポーツ情報	40		
東京	東邦大学	生命理工	生命理工	172		
京都	京都先端科学大学	社会情報	社会情報	80	◎	
大阪	大阪電気通信大学	工	工	336	◎	1学部1学科複数専攻制に再編。
		情報		330	◎	1学部1学科複数専攻制に再編。
福岡	九州国際大学	情報工		100	◎	
熊本	崇城大学	デジタル創生	デジタル創生	80	◎	
鹿児島	志学館大学	デジタル総合		40		

2029年の計画

本部所在地	大学	学部	学科	入学定員 (改組・新設、定員増など取り組み後)	女子枠 (実施、検討、予定)	備考
公立大学						
静岡	静岡県立大学	食総合科学	食品環境科学、栄養科学	78		食品栄養科学部を改組。
私立大学						
愛知	星城大学	経営	経営情報	60	◎	
大阪	大阪樟蔭女子大学	応用生物科学		80	—	
奈良	奈良学園大学	人間情報	人間情報	100		
福岡	九州共立大学	食農		190		

◇[支援2]高度情報専門人材確保に向けた機能強化への支援 2025年(第3回)選定校

※各校の事業概要資料、文科省資料、大学ホームページ、取材等により作成。 ※実際の新設、定員増に際しては別途、国に対して手続きが必要。
 ※学部・学科等の名称(仮称含む)、計画は選定時点での予定。今後の変更があり得る。
 ※数次の取り組みのある場合、入学定員に示したのは最終的な定員。 ※研究科等の所在地、設置予定地が本部所在地と異なる場合がある。
 ※学部入学定員に編入学定員を含む場合がある。 ※女子枠＝事業概要資料に言及がある場合に「◎」。

本部所在地	大学	区分	実施年	取り組み (改組＝新設、増設を含む)	学部 (大学院、高専は組織名割愛)	学科(専攻、コース等) (大学院、高専は組織名割愛)	【情報系】 入学定員 (取り組み後)	入学定員 増減 (取り組み前との比較)	女子枠 (実施、検討、予定)
国立大学									
青森	弘前大学	修士	2027年	改組			39	21	
岩手	岩手大学	修士	2031年	定員増			50	20	
		学部	2027年	定員増	理工	理工(知能情報コース、クリエイティブ情報コース)	72	10	◎(*)

本部所在地	大学	区分	実施年	取り組み (改組＝新設、増設を含む)	学部 (大学院、高専は組織名割愛)	学科(専攻、コース等) (大学院、高専は組織名割愛)	【情報系】 入学定員 (取り組み後)	入学定員 増減 (取り組み前との比較)	女子枠 (実施、検討、予定)	
国立大学										
東京	お茶の水女子大学	博士	2026年 2028年	定員増 改組			15	8	—	
京都	京都工芸繊維大学	修士	2027年 2031年	定員増			65	19		
		学部	2027年	定員増	工芸科学	情報工学課程	71	10		
鳥取	鳥取大学	修士	2027年	改組			68	18		
公立大学										
秋田	秋田県立大学	博士	2029年	定員増			18	5		
		修士	2027年	定員増			90	20		
山口	周南公立大学	修士	2026年	改組			15	15		
長崎	長崎県立大学	博士	2029年	定員増			3	2		
		修士	2027年	定員増			25	15		
私立大学										
東京	東京理科大学	博士	2027年	改組			16	3		
		修士	2027年 2030年	改組、定員増 定員増			260	120		
東京	明治学院大学	博士	2027年	改組			2	2		
		修士	2027年	改組			15	15		
京都	京都橘大学	博士	2027年	改組			6	6		
		修士	2030年	定員増			35	25		
		学部	2026年	定員減		工	情報工	100	-30	
				改組		工	ロボティクス	80	80	
				改組		デジタルメディア	デジタルメディア	100	100	
改組				デジタルメディア	デジタルメディア (通信教育課程)	360	360			
大学院大学(私立)										
神奈川	情報セキュリティ 大学院大学	修士	2027年	定員増			55	15		
高等専門学校(国公立)										
福井	福井 工業高等専門学校	-	2026年	改組			80	40		
静岡	沼津 工業高等専門学校	-	2027年	改組			80	40		
奈良	奈良 工業高等専門学校	-	2027年	改組			200	160		
広島	呉 工業高等専門学校	-	2027年	改組			40	40		
愛媛	月形 商船高等専門学校	-	2026年	改組			80	40		
福岡	久留米 工業高等専門学校	-	2027年	改組			70	30		
滋賀	滋賀県立 高等専門学校	-	2028年	学校新設			20	20		

(*)岩手大学＝2027年入試でクリエイティブ情報コースの総合型選抜において女子枠(5名)導入予定。